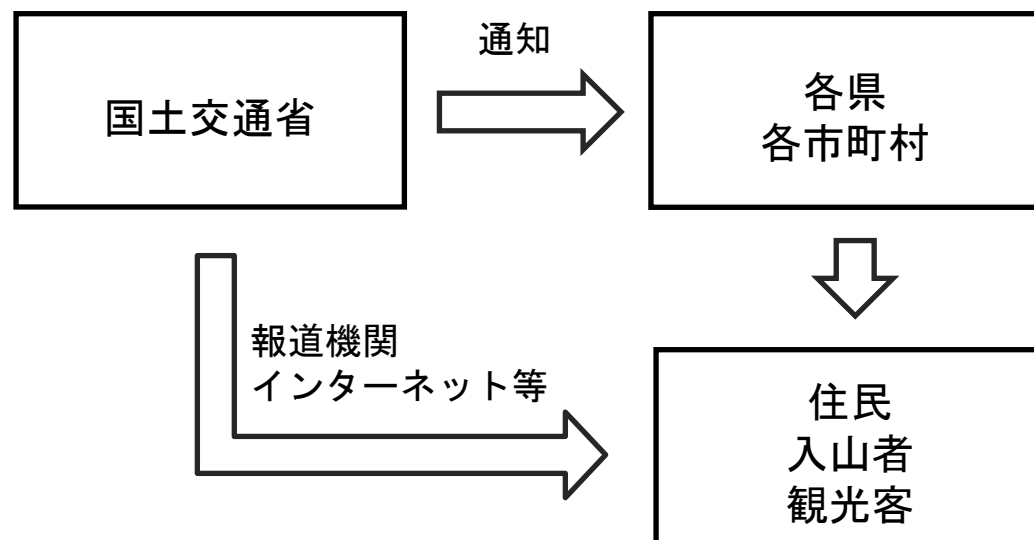


2. 避難対策

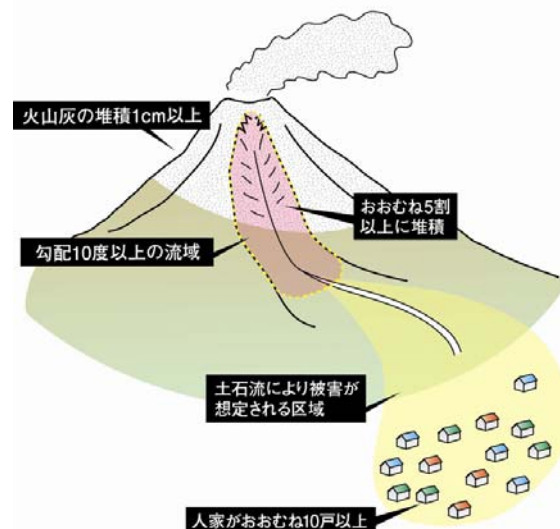
○土砂災害緊急情報

大規模な土砂災害が急迫している状況において、市町村が適切に住民の避難指示の判断等を行えるよう、特に高度な技術を要する土砂災害については国土交通省が緊急調査を行い、被害の想定される区域・時期の情報（土砂災害緊急情報）を提供する。

土砂災害緊急情報の伝達の流れ



国が緊急調査を実施する要件



火山噴火に起因する土石流の場合

○降灰後の降雨による土石流の避難対策の留意点

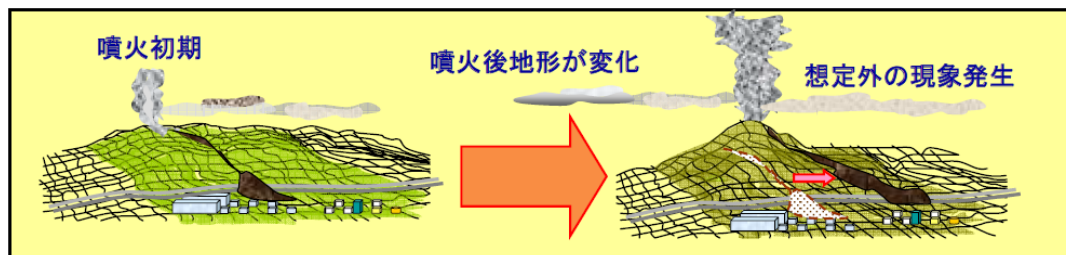
- ・ 降灰後土石流については、土砂災害緊急情報を参考とし、降雨の状況に応じて避難を行う。
- ・ 降灰後土石流は、噴火終息後も数年にわたって発生し続けるため、市町村は噴火終息後の避難対象エリアの見直しにあたっては、土石流の危険性に関する情報（土砂災害緊急情報）にも留意する。

○リアルタイム火山ハザードマップによる情報提供

火山活動は予測が困難で、かつ想定外の事象も発生することから、緊急時に迅速かつ効果的な対策を実施するには、様々な状況に対応できるリアルタイム火山ハザードマップの整備を進めていくことが有効。火山活動の状況に合わせて、火山泥流等の影響範囲を想定したリアルタイムハザードマップを提供する。

リアルタイムハザードマップ

火口位置、火山活動に伴う地形の変化や火山噴出物の物性、量、範囲等に対応して、火山泥流等の数値シミュレーション等により、影響範囲に関する情報を随時作成するハザードマップ

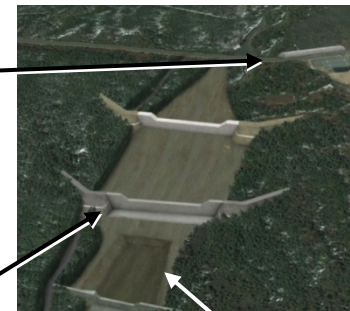


○土砂災害防止のための緊急ハード対策

火山活動の状況に応じて、砂防堰堤の除石等、緊急ハード対策を行い、土砂災害による被害を軽減する。

緊急ハード対策の例

- ・砂防堰堤の除石
- ・仮設導流堤の整備
- ・砂防堰堤の設置、嵩上げ
- ・大型土嚢、布団籠、コンクリートブロック設置
- ・遊砂地の整備
- ・流路工の整備
- ・流木止め工の整備



緊急ハード対策（イメージ）